

# 多彩な魅力あふれる 日立オリジンパーク

ゴルフコースは名匠・井上誠一的设计

小平記念館（アネックス）

2021年（令和3年）11月、（株）日立製作所（以下、日立）は創業地である日立市に、「小平記念館」「創業小屋」「大みかクラブ」「大みかゴルフクラブ」からなる「日立オリジンパーク」をオープンしました。

開設から3年を経過し、これまでの活動や今後の展開とともに、改めて施設の魅力や見どころなどについて、日立オリジンパーク館長の和久井勇人さまと管理グループの沼田祐美さまに伺いました。（聞き手：弊社社長 大森 範久）



日立オリジンパーク

館長 **和久井 勇人**  
(わくい はやと)

**沼田 祐美**  
(ぬまた ひろみ)

## オープンから3年の歩み

—これまでの活動について教えてください

**和久井館長（以下、館長）** 日立オリジンパークは2021年（令和3年）11月にオープンし、本年11月で4周年となります。現在（取材時2025年（令和7年）4月末）までの来場者数は約7万3千人で、年間平均2万人を超えています。

2024年（令和6年）1月には『小平浪平（おだいらなみへい）翁生誕150年記念展「正直者」小平浪平を探る』を開催しました。当初8月末までの会期予定でしたが、好評につき12月末まで延長しました。

—パーク開設の趣旨に『地域のみなさまや世界中のビジネスパートナーとの新たな対話生まれる場』とありますが？

**館長** 仕事関係のグループや、児童・生徒の社会科学見学など、国内外からさまざまなお客さまにご来場いただいております。

世界各国にある日立グループの拠点から創業の精神や歴史を学ぶために社員が訪れるのはもちろん、小平の出身地である栃木市からは、「小平浪平顕彰ツアー」を組んでご来場いただいております。

**沼田祐美さま（以下、沼田）** 夏休み期間中には、子ども向けイベントとして原子力科学館や日鉱記念館など近隣施設とスタンプラリーを開催しました。

子どもから大人まで、それぞれの世代がそれぞれの感性で、見て・感じて・楽しんでいただける施設になっていると思います。



小平記念館 Zone1 プロローグ

## 小平記念館 日立製作所の創業の精神とこれまでのあゆみを紹介

—入口に展示されていた創業者・小平浪平翁の学生時代の日記に「模倣を持って満足する限りは 日本の工業豈（あに）論ずるに足らむや」とあったのが印象的でした。

**館長** 小平は、自らの力で電気機械を製作したいという学生時代から抱いてきた志を胸に「日立製作所」を立ち上げました。日立の企業理念は「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」で、自ら設計して製造した製品を、自らの手で販売することを理想として実現してきました。創業時の精神は、今も変わらず受け継がれています。

「小平記念館」の展示は、小平の人物像の紹介に始まり、創業までの道のり、社会課題の解決に向けた日立の

挑戦を、年代を追ってご覧いただけるようになっていきます。

**沼田** 小平記念館の展示を通じておおよその日本の産業技術の発達史を見ていただくことができると思います。

創業製品である5馬力誘導電動機（5馬力モーター）から水車ランナー、アナログ計算機、テレビ、洗濯機、携帯電話、生体認証装置など、さまざまな日立製品を現物、レプリカ、映像などで紹介しておりますので、何かしらの思い出に繋がる製品に出会えていただけたら嬉しいですよ。



Zone1 創業者小平浪平、その志



Zone2 社会課題解決への挑戦



Zone3 これからの社会課題とともに



Zone4 挑戦の歴史をたどる

— 0系新幹線やカラーテレビ「ポンパ」、洗濯機「からまん棒」など、懐かしく拝見しました。日立の輸出第1号が扇風機（1926年、アメリカに30台）だったというのも興味深かったです。

**館長** ちなみに外販品第1号は1910年（明治43年）に製作された5kVA変圧器で、小平が考案した日立マーク（亀の甲マーク）が刻印されています。

創業製品である5馬力モーターは、2023年（令和5年）6月、産業技術史上における学術的価値が高いと評価され、国の重要文化財に指定されました。



古い製品（扇風機）



日立マークの刻印



令和5年度重要文化財  
五馬力誘導電動機

## 創業小屋 The Origin 日立の原点

— 「創業小屋」は復元されたものですか？

**沼田** 創業の精神を未来に伝えるシンボルとして再復元しました。

オリジナルの建物は、創業メンバーがDIYで建てたイメージで、正式な設計図などもなかったそうです。

小平の逝去から5年が経過した1956年（昭和31年）、创业者の顕彰事業のため、創業メンバーの記憶を元に海岸工場内（日立市幸町）に小屋を復元し、創業小屋と名付けました。



創業小屋

— 室内に流れる古い映像と大きな作業音に包まれていると、創業間もない頃にタイムスリップしたような感じがしました。5馬力モーターが動態展示されていて、来館者が起動できるのには驚きました。

**沼田** 創業から四半世紀が過ぎた頃、旧電線工場（日立市助川町）を視察に訪れた5馬力モーターの設計者・高尾直三郎が、1911年（明治44年）製の5馬力モーターを見つけて「ここにいたのか！」と。高尾にとって「あった」じゃなくて「いた」というぐらい思い入れのある製品でした。以来、動く状態に整備・保存しています。

創業時の息吹を感じていただけたら幸いです。

## 大みかゴルフクラブ 名匠・井上誠一が手がけた茨城県最初のゴルフコース

— 開業時は太平洋が望める本格的なシーサイドコースだったそうですね。

**館長** 大みかゴルフクラブは1936年（昭和11年）、社員の福利厚生と外国賓客の接待を目的に、「日立ゴルフ倶楽部」として開場したのが始まりです。

開業時のコースは、大洗ゴルフ倶楽部をはじめ数々の名門コースを手がけた井上誠一氏の設計によるもので、18ホール・パー74のチャンピオンコースでした。茨城県では最初の、企業所有としては日本初のゴルフ場です。

**沼田** 完成から7年後の1943年（昭和18年）、戦争の激化でコースの3分の2を農地化し、戦後は農地改革により、残ったエリアはクラブハウスを含む3分の1だけでした。

**館長** 1950年（昭和25年）に3ホールで再開し、その後用地を買い戻すなど拡張して、現在は6ホールのゴルフ場として、一般の方にもご利用いただいています。

井上設計の古いコース図と現在の6ホールを見比べると、ほぼ同じイメージです。コース内の松の木は開業時のままです。空中ハザードと言われる立木を効果的に配した井上氏らしいコースレイアウトは、今もそのままと言えます。

— 現在のコースについて教えてください

**館長** 6ホールですので、フルラウンドの場合は3周していただくことになります。周回ごとに攻略法を変える



ゴルフをする小平浪平翁

こともできますし、また、体力や時間の余裕に合わせて1周だけ、2周だけといった楽しみ方もできます。

手引きのカートを採用していますので、徒歩でのラウンドです。3周すると1万5千歩（約10km）ほどになりますので、足腰に自信のある方は、ぜひフルラウンドをお楽しみください。

井上氏の設計は、自然の地形をいかした難コースが多いと言われますが、当コースもグリーンが小さく、特に5番Aグリーンは砲台かつ馬の背なので、しっかり乗せないとこぼれます。

戦前のコース写真





日立オリジンパーク敷地全景



スコアカード



古いコース図



現在のコース図

自慢は、手入れが行き届いた高麗グリーンです。景色がいいのは4番グリーン。「大みかクラブ」に向かって打つ6番が好きだというお客さまも多いです。

当コースは営利を目的としていないため、リーズナブルな料金設定になっています。お気軽にご利用ください。

**沼田** 春の新緑、秋の紅葉はもちろん、年間を通じてコースキーパーが毎日丹精込めて手入れしているコースの美しさは誇りです。

「小平記念館 (アネックス)」はコースに面してガラス張りになっており、記念館見学者にも清々しい緑の景観を楽しんでいただいております。



小平記念館 (アネックス)

## 大みかクラブ 趣ある建物でおいしいランチも

—「大みかクラブ」は、木製の壁や天井の意匠、大きな石の暖炉など、クラシカルで美しい建物ですね。

**沼田** 大みかクラブは1936年（昭和11年）に、日立ゴルフ倶楽部のクラブハウスとして建てられました。設計は東京大学の安田講堂を手がけた岸田日出刀（ひと）氏です。

1974年（昭和49年）の茨城国体の際には、昭和天皇・皇后両陛下が行幸啓されました。

今回のパークオープンにあたって、高床式寝殿造りの外観はそのままに、ロビーや食堂などは雰囲気を残しながら、ユニバーサルデザインや省エネルギーなどに配慮した改修を行なっています。

クラブラウンジには小平愛用のゴルフ用品や、大みかクラブに隣接してあった陶芸窯・大甕陶苑（おおみかとうえん）（2002年（平成14年）閉苑）で制作され

た陶芸作品なども展示してあります。

レストランは、ゴルフプレー時の昼食はもちろん、食事だけのご利用も可能で、少人数の会食にご利用いただける個室もあります。



大みかクラブ ラウンジ

## これからの日立オリジンパーク

—（株）日立製作所は2023年（令和5年）12月、日立市と「デジタルを活用した次世代未来都市（スマートシティ）計画に向けた包括連携協定」を締結されましたね。

**館長** 小平は、企業の発展のためには住みやすい環境と豊かな生活の提供が必要だと考え、福利厚生を充実を図り、学校を作り、病院を作り、日立市のまちづくり・発展に貢献しました。

その思いは今も受け継がれ、「日立市全体の活性化、すべての人が豊かに生活することのできる安全・安心なまちの実現をめざす」という今回の連携協定にも繋がっています。

当パークもそうした思いを大切に、地域のみなさまや世界中のビジネスパートナーが集い、学び、考え、楽しめる場となれるよう、活動していきたいと思えます。

### 日立オリジンパーク

茨城県日立市大みか町6-19-22

TEL 0294-87-7575

開館時間 9:30～16:00（最終入館 15:00）

休館日 月曜日・祝日（その他の休館日はHPで）

<https://origin.hitachi.co.jp>

アクセス JR常磐線大甕駅西口から徒歩15分

### ◎大みかゴルフクラブ

予約・問い合わせ TEL 0294-52-5052

休場日、利用料などはHPで



小平記念館 エントランス